

日本労働年鑑 第58集 1988年版  
The Labour Year Book of Japan 1988

第四部 労働組合と政治・社会運動

III 政党の動向

6 日本共産党

2 組織・機関紙・財政

党員数、過去最高の四九万人

共産党は、現在の綱領路線を確定して以降、党員の増加をつづけてきたが、八五年一二月の第一七回大会当時には「党員四八万人を割り、一九五八年の七回大会以来、初めて前大会を下回った」(『朝日新聞』八七年一二月二四日付)。しかし、二年後の第一八回大会時点では、党員の増加をはたし、村上委員長は「結語」のなかで「約四九万人」と過去最高の水準に達したことを明らかにし、これは「大会決議」第四章の冒頭でも確認されている。

機関紙、「三百数十万」で停滞

共産党の中央機関紙『赤旗』には、日刊紙と日曜版がある。これを合計した数は、八〇年二月の第一五回大会で三五三万部のピークを示して以降減少しつづけて「三百数十万」の水準で停滞してきた。村上委員長は第一八回大会の「結語」で、機関紙が前回大会を八万六〇〇〇部上回ったことを明らかにしたが、まだ、「機関紙の最高水準(三五五万部)の達成」という目標には届いていず「大会決議」でも依然として「三百数十万の機関紙読者」とされている。

定期刊行物一覧

共産党が発行している定期刊行物はつぎのとおりである。

- (1) 中央機関紙『赤旗』(日刊、一六ページ)一部七〇円、一カ月二〇〇〇円
- (2) 同『赤旗日曜版』(週刊、二〇ページ)一部一三〇円、一カ月五〇〇円
- (3) 同『赤旗』学習・党活動版(週刊、タブロイド版八ページ)一部四〇円、一カ月一五〇円
- (4) 同『赤旗』評論特集版(週刊、B5判三二ページ)一部八〇円、一カ月三〇〇円
- (5) 理論政治誌『前衛』(月刊)一部五〇〇円
- (6) 『理論政策』(月刊)価格不定
- (7) 『暮らしと政治』(月刊)一部四五〇円
- (8) 『あすの農村』(月刊)一部四五〇円
- (9) 『月刊学習』(月刊)一部二五〇円
- (10) 『女性のひろば』(月刊)一部二五〇円
- (11) グラフ『こんにちば——日本共産党です』(月二回刊、AB判五〇ページ)一部一四〇円
- (12) 『世界政治—論評と資料—』(月二回刊)一部三〇〇円
- (13) 『点字赤旗』(月刊)一部二〇〇円
- (14) 『赤旗縮刷版』(月刊)一部四四〇〇円
- (15) 『赤旗』写真ニュース(月二回刊)一部一五円

このうち、グラフ『こんにちば』は、それまでの月刊が、八七年一二月から月二回刊に変わった。

財政——収入総額二八七億円

共産党が自治省に提出した八六年分の収支報告によれば、同党中央本部の収入額は二三六億六四二九万五九七五円(前年比一九億八五六〇万円の増)で一二年連続で他政党を上まわった。

第二位は自民党で二〇五億五四七八万円、以下第三位公明党、第四位社会党、第五位民社党の順で、この順位はここしばらく変わっていない。なお、これに前年繰越額五〇億六三〇二万六三五六円を加えた収入総額は二八七億二七三二万二三三一円で、前年とくらべて二一億三〇九五万円の増となった。

収入の大部分は機関紙誌の発行その他の事業によるもので、その内訳は、『赤旗』などの新聞関係が一八七億二七三七万円(七九・一%)で前年比一七億六二六八万円の増、次いで書籍関係の収入が一五億一三九六万円(六・四%)で一億一九五四万円の増、『前衛』などの雑誌関係が一億七六八三万円(五・〇%)で五七四六万円の減、これらに「赤旗まつり」や「人民大学」をふくめた「機関紙誌の発行その他の事業による収入」は二一七億三〇六四万円(九一・八%)である。

党費・会費収入は一億九三二四万円(五・〇%)で三五一〇万円の増である。ただし、党費は総額の一五%だけが中央本部に納入されるので、実際の総額は七九億五四九三万円になる。納入人員は延べ数で三六五万〇六二六人、一ヵ月平均で三〇万四二一九人で、前年より延べ数で九万二九九四人、月平均七七四九人の減である。なお、寄附はすべて個人からのもので、二億八二〇七万円(一・二%)と前年より二三一八万円の増であった。

一方、支出総額は二六三億四六七八万四七四七円で、前年より四八億一三四三万円の増である。内訳では、機関紙誌の発行事業費が一七一億二三六六万円(六五・〇%)で前年比九億九六三五万円の増、次いで人件費が二五億五〇〇九万円(九・七%)で二億〇五七六万円の増、地方組織等への寄附・交付金が三五億六四三九万円(一三・五%)で一八億五七九〇万円の増、衆参同日選に向けての選挙関係費が一五億一九一一万円(五・八%)となっている。

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---